

第1問 次の文章を読んで後の問いに答えよ。

著作権の都合上、  
この部分をご覧いただけません。

問一 二重傍線ア「人を奴隷のような隷従状態に追いやる労働。なぜそのようなものが道徳的に優れたものとして称揚されているのだろうか。」とあるが、著者が考える理由を、百字以上、百二十字以内で説明せよ。

問二 アリストテレスの思想において、労働と道徳はそれぞれどのようなものと考えられているか。その違いについて、六十字以上、八十字以内で説明せよ。

問三 本文中の空欄 

X
---

 および 

Y
---

 に入る適切な語句を、本文中から抜き出して答えよ。

問四 次の各文について、本文から読み取れるものに○、読み取れないものに×をつけよ。

- (1) 労働においてP D C Aサイクルを回し続けることは、身体が動く限り抜け出すことのできない円環であると述べられている。
- (2) 人類が社会的生活を始めた当初から、労働は「自己実現」や「優れた存在になること」と密接に結びついていた。
- (3) 農耕社会の発展とともに、労働による食物や財産の生産が重要な役割を果たすようになるにつれて、労働は道徳的価値を徐々に帯びていくようになった。
- (4) 江戸時代後期の「通俗道徳」は、地主階級が大阪や堺などの都市部に流出し、富を独占しようとしたことで発生した。
- (5) 明治時代に普及した「修養」という概念は、能動的に自己のより良い状態を目指そうとする「自分磨き」の志向を含んでいる。
- (6) サミュエル・スマイルズの『自助論』は、個人の努力よりも運や社会環境が社会的地位を決定するという考え方を説いた。

問五 傍線①～⑩の片仮名は漢字に、漢字は平仮名にそれぞれ直せ。

国語試験問題は次ページに続く

第2問

次の文章を読んで後の問いに答えよ。

著作権の都合上、  
この部分をご覧いただけません。

〔冷泉彰彦 「日本人によくある「社会人に理科はいらない」は幻想！事務職や営業職だからこそ、  
物理学や化学が必要な理由」『Wedge ONLINE』2025年8月15日〕

問一 二重傍線ア「事務とか営業という業務の内容が、正確に伝わっているか」と、かなり怪しいと思われる」とあるが、筆者は事務や営業の仕事をどのように捉えているか。世間一般のイメージとの対比を含めて、八十字以上、百二十字以下で説明せよ。

問二 二重傍線イ「そう考えると、昔からある「日本は科学技術立国」というセルフイメージは、かなり中身の怪しい「張り子の虎」であるかもしれない。」とあるが、「張り子の虎」とは、ここでは日本のどのような状況を指して用いられているか。文中の言葉を用いて五十字以上、七十字以下で説明せよ。

問三 本文中の空欄 X および Y に入る適切な語句を、本文中から抜き出して答えよ。

問四 次の(1)から(6)の文について、文中より読み取れるものに○、読み取れないものに×をつけよ。

- (1) 日本の高校生が「社会に出たら理科は必要なくなる」と考える割合が高いのは、他国と比較して自己肯定感が低いという心理的バイアスのみで説明がつく。
- (2) 私立文系コースを選択した生徒が数学や理科の学習から遠ざかる現状は、入試制度によって構造的に作り出されていると筆者は指摘している。
- (3) 筆者は、事務職や営業職における理科の知識の必要性は、専門的な工作用機械の販売などの特殊な事例に限定されると考えている。
- (4) 日本の高校生の自然科学への関心は、物理や化学のような理論体系の理解よりも、動物園や科学館などを通じた自然科学に関する情報収集に偏っている。
- (5) 筆者は、地学という科目が科学の本質である「思考の操作」よりも現象の知識習得に留まっている点を問題視し、受験での扱い再考を提案している。
- (6) 現代の先端研究においては物理・化学・生物の三分野の融合が進んでいるため、入試で二科目に絞ることは将来的な研究力の妨げになると筆者は主張している。

問五 本文の趣旨や論理構成を問う問題として、最も適切なものを次から一つ選び、番号で答えよ。

- (1) 日本の高校生の学力低下を食い止めるため、受験勉強を廃止し、自然観察や体験型学習を重視した教育改革を断行すべきである。
- (2) 文理の壁を撤廃し、物理・化学・生物の原理原則を学ぶことで、実社会での生産性を向上させる科学的リテラシーを全国民が身につけるべきである。
- (3) 事務職や営業職のイメージを改善し、文系学生の志望者を増やすことが、日本の経済停滞を脱却するための最も有効な手段である。
- (4) 「科学技術立国」という虚像を捨て、伝統的な文化や自然への親しみをベースとした独自の教育体系を構築すべきである。
- (5) 経済学に数学が必要とされているように、あらゆる文系学部に入試科目を追加し、学生の負担を増やすことで真の学力を担保すべきである。

問六 傍線①～⑩の片仮名は漢字に、漢字は平仮名にそれぞれ直せ。